

様式4: 地区連絡会議報告書

○「農家の人たちとともに地域の農地について語り合おう」

(京都府船井郡京丹波町和知地区連絡会議)(第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(地域内の課題とス
ローガンの設定)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月19日
- 場 所: わ～ふ館(和知支所)
- 出 席 者: 農業委員・最適化推進委員10人
委員以外1人
- 報 告 者: 塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京丹波町の木阿川に位置し国道27号が縦貫しており、綾部、舞鶴、福井方面への幹線道路
- 農耕地の殆んどが中山間農地でほ場整備はされているが一戸当たりの経営規模は小さい
- 丹波黒大豆、丹波くりの生産地である



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 和知地区連絡会議の集落単位での現状と課題の報告
 - ・獣害がひどく、農作物の被害も多いが、かんがい水路を壊すなど近年特にひどい
 - ・ほ場整備の実施から完了期に農業を継続する体制が整えられたが、今は崩壊してきており農業を支えるリーダーが不足、農家組合、中山間支払いの役員が対応している
 - ・地域外へ生活の拠点を持った農家(現状は土地持ち非農家)の土地が管理されないので困っている
- スローガン「農家の人とともに地域の農地について語り合おう」と、とにかく皆が農業、農地について関心を持つことが大切とした気持ちが込められている

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援